NIE実践報告

1．タイトル：☆絵で表現する現代社会

2．学校名

大阪成蹊女子高等学校(大阪府、私立)

3．実践者名（代表者名）

髙橋　千尋

4．学年

第1学年　美術･イラスト･アニメーションコース

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

芸術科　総合的な学習の時間　美術･I･Aコースの34人

6．単元（本時の学習課題）名

社会の出来事を通して自分の気持ちや感じたことを絵で表現する

7．目標(狙い)

「世の中の出来事を知っていなければ時事マンガが何を話題にしているか､何を皮肉っているかもわからない。」ということで､時事マンガを活用して社会に関心を持たせた。

8．評価の視点

原則評価は行わない
社会の出来事に関心を持ち､それをどのように絵で表現できるか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

NIE月間を設け､SHRやLHRを利用　LHR　2時間　　SHR計5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)｢時事マンガ｣を用い､マンガから社会(時事問題)をみる(1時間)
(2)新聞で用いられる様々な表現(見出し､紙面作り､写真､イラスト､広告)を知ると共に､読み手が受ける印象の違いを学ぶ
(3)新聞から気になる記事を切りシートに貼って､題材集めをする。
(4)社会の出来事から感じたことを絵に表現する(SHR 15分×20)
(5)時事マンガを描かれているイラストレーターの方から話を聞く。(1時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

実践後､時事マンガに目を向けるようになった生徒が｢時事マンガも面白いが､内容がわかりだすと､そのマンガに関する記事を読みたくなった。だんだん新聞の読み方の理解､面白さがわかってきた。ネットで新聞を読めるけど内容が詳しく書いてあるのは新聞だ。前から時間があって暇な時などは読んだりしていたが､これから毎

12．成果と課題

日頃から､絵を描いている生徒なので､絵に表現する題材が決まれば､それを描くことは容易である。そこで､まず新聞を読みなれていない生徒に新聞に関心を持たせることから始める。
この取り組みをきっかけに政治面や国際面に目を向け絵に表現できた生徒がいた。絵の描き方などについては何も指導をしていないが､鋭い感性で社会の出来事を風刺している作品も何点か見られた。しかしながら､題材集めに苦労した生徒もおり､これからも新聞を読み､社会に目を向けることが大切だと考える。
美術･イラスト･アニメーションコースの生徒は､卒業後殆どが美術系大学･短大･専門学校へ進学し､将来的に